



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年1月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社
 コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 松本 清一郎
 (氏名) 山戸 康彦
 TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,011	11.9	130		183		86	75.3
2019年3月期第3四半期	7,158	3.6	37		49		49	16.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	3.95	
2019年3月期第3四半期	2.25	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,747	10,908	52.6
2019年3月期	21,612	10,892	50.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,908百万円 2019年3月期 10,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				3.00	3.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	6.1	140	183.3	180	667.7	90	13.7	4.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	21,974,000 株	2019年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	147,284 株	2019年3月期	147,124 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	21,826,807 株	2019年3月期3Q	21,827,112 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費増税後の景気に加え、米中間の通商問題の動向や中国経済及び欧州経済の減速懸念の影響等により、依然として不透明な状況が続いております。

化学工業におきましては、内需の力強さも欠きつつある中、景況感や市況低迷による企業収益への悪化に対し、予断を許さない状況にあります。

このような状況下、当社は社内外の環境変化に迅速かつ的確に対応しつつ、重要課題を克服・解決しながら更なる発展の礎を築いていくことを念頭において、具体的方策への取り組みを行っているところであります。

当第3四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比11.9%増の8,011百万円となり、売上高の増加に伴い、営業利益は130百万円、経常利益は183百万円、四半期純利益は86百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2019年3月期第3四半期累計期間				2020年3月期第3四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	851	1,681	2,533	35.4	829	1,666	2,496	31.2
化成品関係	2,238	389	2,627	36.7	2,186	391	2,577	32.1
医薬品関係	1,340	656	1,996	27.9	2,160	776	2,936	36.7
合計	4,430	2,728	7,158	100.0	5,176	2,834	8,011	100.0
構成比(%)	61.9	38.1	100.0		64.6	35.4	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【アミノ酸関係】

アミノ酸の販売が輸出を中心に減少したのに加え、ビタミン原料の国内販売及び輸出が好調であった前年同四半期と比べやや減少したことから、売上高は2,496百万円と、前年同四半期と比べ37百万円(1.5%)の減収となりました。

【化成品関係】

特殊触媒の国内販売は好調であったものの、一部の農薬原料や半導体処理剤の国内販売が減少したことにより、売上高は2,577百万円と、前年同四半期と比べ49百万円(1.9%)の減収となりました。

【医薬品関係】

国内販売を中心に、既存薬・新薬中間体が好調であったことから、売上高は2,936百万円と、前年同四半期と比べ939百万円(47.1%)と大幅な増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態に関する分析

当第3四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から509百万円減少し、8,900百万円となりました。これは主に、原材料の増加と、受取手形及び売掛金、仕掛品の減少によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から354百万円減少し、11,847百万円となりました。これは主に、機械及び装置の減少によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から577百万円減少し、6,049百万円となりました。これは主に、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から302百万円減少し、3,789百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から15百万円増加し、10,908百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加と、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

現時点における当社の2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331	1,069
受取手形及び売掛金	3,204	2,513
製品	2,938	3,002
仕掛品	754	420
原材料	883	1,335
その他	297	559
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,410	8,900
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,517	2,449
機械及び装置（純額）	2,707	2,460
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	25	77
その他（純額）	1,472	1,413
有形固定資産合計	9,833	9,511
無形固定資産	66	53
投資その他の資産		
投資有価証券	1,967	1,960
その他	334	323
投資その他の資産合計	2,302	2,283
固定資産合計	12,202	11,847
資産合計	21,612	20,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,435	1,449
電子記録債務	350	263
短期借入金	3,500	3,200
1年内返済予定の長期借入金	595	379
未払法人税等	25	33
賞与引当金	141	73
設備関係電子記録債務	97	102
その他	481	549
流動負債合計	6,627	6,049
固定負債		
長期借入金	2,260	1,954
再評価に係る繰延税金負債	617	617
退職給付引当金	975	998
資産除去債務	14	14
その他	225	205
固定負債合計	4,092	3,789
負債合計	10,719	9,839

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	3,321	3,342
自己株式	△47	△47
株主資本合計	9,995	10,016
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	745	740
土地再評価差額金	151	151
評価・換算差額等合計	897	892
純資産合計	10,892	10,908
負債純資産合計	21,612	20,747

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,158	8,011
売上原価	5,901	6,385
売上総利益	1,257	1,626
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	328	334
賞与引当金繰入額	17	17
研究開発費	264	468
その他	684	674
販売費及び一般管理費合計	1,294	1,495
営業利益又は営業損失(△)	△37	130
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	60	49
奨励金収入	—	50
雑収入	15	18
営業外収益合計	76	118
営業外費用		
支払利息	40	36
支払手数料	40	20
雑損失	6	8
営業外費用合計	88	65
経常利益又は経常損失(△)	△49	183
特別利益		
投資有価証券売却益	168	—
特別利益合計	168	—
特別損失		
固定資産除却損	21	57
投資有価証券評価損	8	—
特別損失合計	29	57
税引前四半期純利益	90	125
法人税等	40	39
四半期純利益	49	86

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(台風19号及び10月25日の記録的短時間大雨による水害の影響について)

2020年3月期第2四半期において重要な後発事象として記載しておりますが、当社の常磐工場(福島県いわき市)におきまして、台風19号及び10月25日(金)の記録的短時間大雨により、工場敷地内での生産設備機器への部分的な浸水等の被害が発生しました。その後復旧対応に注力した結果、機器類の安全確認・整備・更新が完了した設備から順次生産を再開し、現在ではほぼ通常どおりの生産を行っております。

なお、当水害により被害を受けた設備機器や製品在庫等につきましては災害保険が付保されており、保険会社との協議を踏まえ、保険請求手続を順次進めている一方、付保対象外の被害額の影響を含め精査中であります。

このため、業績への影響につきましては、判明次第速やかにお知らせいたします。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。